

41 イドミズハゼ

(ハゼ科)

兵庫県ランク:要調査

Luciogobius pallidus

環境省ランク:NT

種の概要

全長7cm程度。ミミズハゼに似ているが、眼は退化し、小さい。体色は赤褐色で鱗を持たない。伏流水や地下水のある海岸、河口域の礫の間隙に生息する。国内では新潟県、静岡県以西に分布する。



写真提供:兵庫県立人と自然の博物館(撮影:増田 修)

県内における生息状況及びその他特記事項

県内での分布は局限されており、瀬戸内海側の1河川の河口域でのみ確認されている。直近の確認記録は1993年であり、最近の生息状況は不明である。本種は地下水中に生息するという生態の特殊性から、生息確認が難しく、県下の生息状況が十分に把握されていない可能性がある。

保護上の留意点

河口域にあって伏流水の湧き出す礫～砂礫底の砂州の保全が必要である。本種はタモ網や投網といった通常の魚類採集方法では生息確認が難しい場合が多い。河口域で魚類調査を実施する場合には、上記環境を積極的に探し出し、素手またはシャベルを用いて表層の礫を除去する方法を併用することが望ましい。この場合、本種は掘った穴に湧いた水中に現れることが多い。

県内分布

たつの市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	△
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	○
	孤立	○
学術性	極限	○
	限界	
	希少	○

